

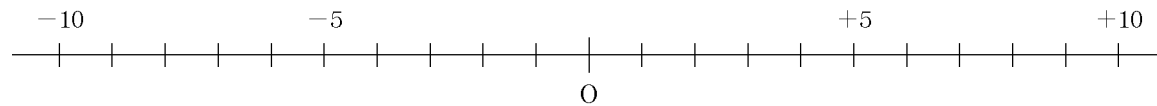
# 絶対値ってなあに？

それぞれの数には絶対値というものがあります。+6の絶対値は6で、-6の絶対値も6、+1.5の絶対値は1.5で、-1.5の絶対値も1.5です。それでは、+9、 $-\frac{1}{2}$ 、-0.33の絶対値は何だと思いますか。

あなたの考えを書いてください。

ある数の絶対値とは、どういうものか考えてみましょう。

(1) 数直線上に、+6、-6、+1.5、-1.5を表す点をとってみよう。



その点と原点との距離を求めてみよう。また、その点を表す数の絶対値と比べてみよう。

+6と原点との距離は

+6の絶対値は

-6と原点との距離は

-6の絶対値は

+1.5と原点との距離は

+1.5の絶対値は

-1.5と原点との距離は

-1.5の絶対値は

このように、ある数の絶対値とは、その数を表す点と原点との  を表します。

もう一度、はじめの問題を見直してみよう。

+9の絶対値は 、 $-\frac{1}{2}$ の絶対値は 、-0.33の絶対値は

。

また、0の絶対値は何でしょう。

(2) また、次のように考えることもできます。

数	その数の絶対値
+6	→ 6 ( +6の+をとりさった数 )
-6	→ 6 ( -6の-をとりさった数 )
+1.5	→ 1.5 ( +1.5の+をとりさった数 )
-1.5	→ 1.5 ( -1.5の-をとりさった数 )

このように、正負の数の絶対値とは、その数の  をとりさった数を表すとみることができます。

(3) 次の数の絶対値を求めなさい。

① +13.2

② -3.3

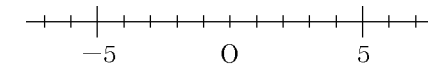
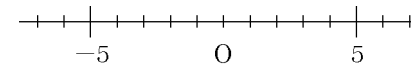
③  $-\frac{1}{3}$

④  $+\frac{7}{4}$

(4) 次の数を表す点を数直線にかきなさい。

① 絶対値が3となる数

② 絶対値が5.5となる数



(5) 絶対値が-2になる数はありますか。

# 絶対値ってなあに？

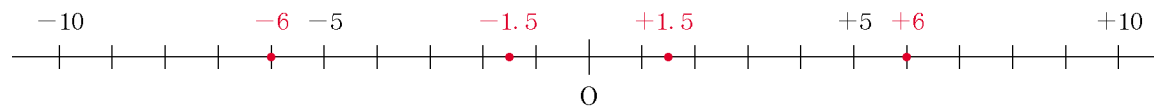
それぞれの数には絶対値というものがあります。+6の絶対値は6で、-6の絶対値も6、+1.5の絶対値は1.5で、-1.5の絶対値も1.5です。それでは、+9、 $-\frac{1}{2}$ 、-0.33の絶対値は何だと思いませんか。

あなたの考えを書いてください。

+9の絶対値は9  
 $-\frac{1}{2}$ の絶対値は $\frac{1}{2}$   
 -0.33の絶対値は0.33

ある数の絶対値とは、どういうものか考えてみましょう。

(1) 数直線上に、+6、-6、+1.5、-1.5を表す点をとってみよう。



その点と原点との距離を求めてみよう。また、その点を表す数の絶対値と比べてみよう。

+6と原点との距離は	<b>6</b>	+6の絶対値は	<b>6</b>
-6と原点との距離は	<b>6</b>	-6の絶対値は	<b>6</b>
+1.5と原点との距離は	<b>1.5</b>	+1.5の絶対値は	<b>1.5</b>
-1.5と原点との距離は	<b>1.5</b>	-1.5の絶対値は	<b>1.5</b>

このように、ある数の絶対値とは、その数を表す点と原点との **距離** を表します。

もう一度、はじめの問題を見直してみよう。

+9の絶対値は **9** ,  $-\frac{1}{2}$ の絶対値は  **$\frac{1}{2}$**  , -0.33の絶対値は **0.33** 。

また、0の絶対値は何でしょう。 **0**

(2) また、次のように考えることもできます。

数	その数の絶対値
+6	→ 6 ( +6の+をとりさった数 )
-6	→ 6 ( -6の-をとりさった数 )
+1.5	→ 1.5 ( +1.5の+をとりさった数 )
-1.5	→ 1.5 ( -1.5の-をとりさった数 )

このように、正負の数の絶対値とは、その数の **符号** をとりさった数を表すとみることができます。

(3) 次の数の絶対値を求めなさい。

① +13.2 **13.2**

② -3.3 **3.3**

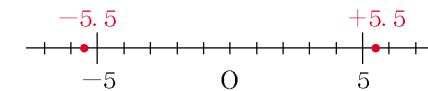
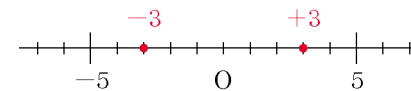
③  $-\frac{1}{3}$   **$\frac{1}{3}$**

④  $+\frac{7}{4}$   **$\frac{7}{4}$**

(4) 次の数を表す点を数直線にかきなさい。

① 絶対値が3となる数

② 絶対値が5.5となる数



(5) 絶対値が-2になる数はありますか。

**ない**